スピリット 常中魂

平成２８年　２月４日　NO・９９

〒311-1114　水戸市塩崎町1016
TEL029-269 -2116　　FAX029-269 -3160
Mail　tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで，カラー版が見られます】

新聞各紙でシェイクアウト訓練紹介される

机の下、地震から身守れ

水戸　一斉訓練に15万人

机の下に身をかがめる子どもたち＝水戸市塩崎町

東日本大震災から5年を迎えるのを前に、水戸市は2日、市民が一斉に地震から身を守る行動を取る「シェイクアウト訓練」を実施した。訓練には過去最多の15万人以上が参加登録し、職場や小中学校を中心に、震災に備えた訓練を行った。同市塩崎町の市立常澄中学校（飯島尚之校長、生徒数299人）では、生徒らがヘルメットをかぶり、机の下に体をかがめて身を守る訓練に取り組んだ。

市民の防災意識を高め、震災の記憶の風化を防ごうと、2014年から同訓練を実施しており、今年で3回目。参加登録者数は昨年の14万3338人を上回る15万3077人。参加者の市内人口に占める割合は57％に上り、国内の訓練では過去最高を記録した。

シェイクアウト訓練では、姿勢を低く、頭を守り、揺れが収まるまで動かないという行動が基本となる。市はラジオを通じて午前11時5分に訓練開始の合図を放送し、これに合わせて一斉に防災訓練が実施された。

常澄中では、ラジオの放送に合わせ、開始の合図がスピーカーから流れると、生徒たちはヘルメットをかぶり、机の下に1分間、身を隠した。訓練の後は防災に関する知識を高めるため、市の地域安全課の担当者が、お湯を注ぐと15分で食べることができる非常用保存食米の調理方法などを紹介した。

参加した斉藤海輝君（13）は「震災が起きた時も冷静に行動したい」と話した。（成田愛）

動画

姿勢を低く保ちながら、机の下で身を守る生徒（2日、水戸市立常澄中学校で）

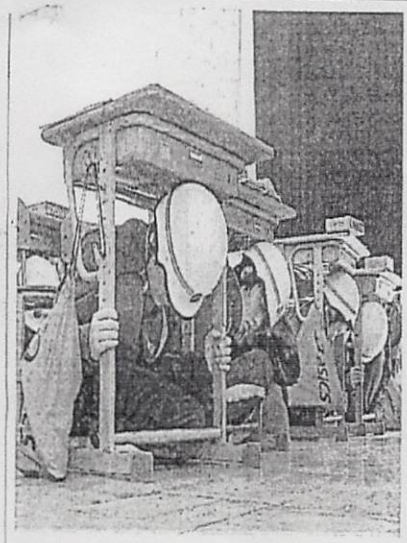
学校など同時刻に防災訓練

水戸市　シェイクアウト　実施

水戸市は2日、学校や企業などが同時刻に取り組む防災訓練「シェイクアウト」を実施した。全人口の54・8％に当たる14万7143人が参加登録し、規模は人口比率で日本一という。

シェイクアウトは米国で2008年に始まり、世界中で行われている地震訓練。水戸市立常澄中学校では午前11時5分、訓練開始を告げるラジオ放送が流れると、生徒らがヘルメットをかぶって机の下に入り込み、身の安全を確保した。

1年の立原桃果さん（12）は「訓練をすると、小学2年生だった時の東日本大震災の怖さを思い出す。いつ地震があっても冷静に対応できるようにしたい」と振り返った。



まちかど

▽シェイクアウトに15万人

大地震を想定した水戸市の「シェイクアウト訓練」が2日、市全域で実施された。参加登録者は15万3077人に上った。人口比は57.0％に達し、国内最高を更新した前回の53.3％を上回った。

今年で3回目。午前11時5分に地震発生を知らせるラジオ放送が合図。市立常澄中学校でも生徒たちは素早く登下校用のヘルメットをかぶり、机の下に身を滑り込ませた。「低く」「頭を守り」「動かない」の三つの安全行動がしっかりできた。1年4組の有田穂乃香さんは「本当にあったときにも対応できるようにしたい。（同居の）祖母にも教えたい」。

↑ 茨城新聞

← 朝日新聞

2月2日本校で行った，水戸市シェイクアウト訓練の様子が新聞各社に取り上げられました。改めてご紹介いたします。

このような災害は起こらないにこしたことはありません。しかし，３・１１で学んだ教訓を風化させてもならないと考えます。

今後も危機感をもって取り組んでまいります。

読売新聞